

## 鳥取市議会本庁舎跡地等活用に関する調査特別委員会 （第23回）会議録

会議年月日	令和3年6月18日（金曜日）		
開会	午前9時57分	閉会	午前11時9分
場所	市役所7階 第1委員会室		
出席委員	委員長 岡田信俊 副委員長 勝田鮮二 委員 加嶋辰史 米村京子 朝野和隆 吉野恭介 岩永安子 平野真理子 上杉栄一		
欠席委員	なし		
委員外議員	太田 縁		
事務局職員	事務局次長 植田 光一 議事係主事 田中 真一 調査係長 中川 真理		
出席説明員	<p style="text-align: center;">【総務部】</p> 総務部長 浅井俊彦 次長兼財産経営課長 一村泰志 財産経営課課長補佐 中村和範 <p style="text-align: center;">【企画推進部】</p> 企画推進部長 高橋義幸 経営統轄監 河井登志夫 次長兼政策企画課長 渡邊大輔 政策企画課課長補佐 平田政志		
傍聴者	1人		
会議に付した事件	別添資料のとおり		

午前9時57分 開会

◆岡田信俊 委員長 それでは、浅井部長に御挨拶をいただいた後、議案説明に入りたいと思います。

浅井部長、お願いします。

○浅井俊彦 総務部長 総務部長、浅井でございます。委員の皆様、本日はどうぞよろしく願いいたします。

ただいま委員長のほうから御説明がありましたとおり、本日は議案の90号、91号、これは本庁舎及び第二庁舎の解体工事に関わります請負契約の変更について議決を得たいと思っております。

内容といたしましては、鳥取県の公共工事の労務単価が3月に遡って改定されたことに伴いまして、4月の臨時議会で議決いただきました請負契約の変更が生じたので、こちらのほうの御承認を得たいという内容でございます。

この解体工事につきましては、工損調査のほうを、事前調査でありますけれども、5月中に済ませておりまして、5月の中旬には近隣の住民の方に工事のお知らせの文書等を配布して協力をお願いしております。

着工といたしましては7月の1日ということでございますけれども、基本的に朝8時から夕方5時までといったような工事の内容と、それから、市のほうの連絡先、また施工業者の連絡先等を明記して、工事の協力のお願ひもさせていただいているという内容でございます。

その後に、6月の5日と6日に市民ワークショップのほうを開催いたしておりますので、こちらのほうの状況につきまして詳細を御報告させていただきたいと思っております。

本日はどうぞよろしくお願ひいたします。

◆岡田信俊 委員長 ありがとうございます。

それでは、最初に申し添えます。以前にもお話ししたとおりでありますけれども、本庁舎跡地等活用に関する調査特別委員会、本会ですが、これは特別委員会と略される方が多いです。それから、旧本庁舎等跡地活用に関する専門家委員会を専門家委員会と略される方が多いので、これを共通理解とさせていただきたいと思っておりますので、最初に申し添えておきます。

#### 議案第90号工事請負契約の変更について（説明）

◆岡田信俊 委員長 それでは、議案第90号工事請負契約の変更についての説明をお願いいたします。一村次長。

○一村泰志 総務部次長兼財産経営課長 財産経営課、一村です。よろしくお願ひします。

資料は説明資料の2ページを、付議案のほうが31ページの議案第90号になります。そちらのほうを御覧ください。本年4月の臨時議会で議決いただきました工事請負契約について、額の変更を行うものでございます。変更の理由としましては、先ほど部長からもありましたが、公共工事設計労務単価の改定に伴い、新たな労務単価で算定したことによるものでございます。公共工事設計労務単価というのは、公共工事の予定価格の算出に用いるための技能労働者の積算用の単価のことでございます。技能労働者の職種ごとに標準単価というのが定められておまして、毎年この労務単価が改定されております。鳥取県が定めて、各市町村がそれに準じて適用するという形になっております。本年3月にこの労務単価が全職種平均で約0.8%引き上げられたといった関係で、本年3月1日以降に契約を締結した工事について、旧労務単価で積算されたものが変更の対象となります。旧本庁舎及び第二庁舎の解体工事についても、これに該当するというところでございます。

続きまして、変更の内容でございますが、(1)です。これによりまして、旧本庁舎につきましては、変更後の金額が3億7,567万7,500円という形になりまして、変更前と変更後の差額が24万7,500円の増額ということになります。

次に、変更後の契約金額の算定の方法でございますが、改正後の労務単価で積算された工事の予定価格に当初契約の落札率を乗じて得た金額ということになります。2の(2)の3億5,851万というのが新たな労務単価で積算された予定価格でございます。これに落札率95.26、その以下に小数点以下がずらっとあるんですが、それを掛けまして、そこから1,000円未満を切り捨てた数字に消費税率を掛けた数字が3億7,567万7,500円という形になります。

(3)の概要にも記載しておりますが、この趣旨としましては、県内の技能労働者の適切な賃金水準を確保することにより、本市の建設産業の振興に資するといったことを目的としてお

りますので、この部分について検討していただきたいという、検討というか、この部分を目的とするものです。

なお、増加額につきましては既決予算の中で対応する予定にしております。

なお、今議会に上程されております工事請負契約の変更議案ですが、庁舎の解体工事以外にも2件の工事請負契約の変更議案、議案第92号、93号とありますが、こちらについても、理由はいずれも労務単価の変更によるものです。以上、参考です。

説明は以上でございます。

◆岡田信俊 委員長 説明をいただきました。

本日の委員会では説明のみとなっておりますが、委員の皆様で、聞き取りにくかった点や字句の確認等ございますでしょうか。上杉委員。

◆上杉栄一 委員 さっきちょっと聞き取りにくくて、既決予算で対応したっていうのは何を対応したんですか。

◆岡田信俊 委員長 一村次長。

○一村泰志 総務部次長兼財産経営課長 この増額の部分でございます。これでいけば24万7,500円というものでございます。

◆上杉栄一 委員 ありがとうございます。

◆岡田信俊 委員長 そのほかございますでしょうか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

◆岡田信俊 委員長 なお、ごめんなさい、私、議案第90号の説明を求めたつもりでしたけど、これ、こっちの資料は91号も説明いただいたという解釈でよろしいでしょうか。

○一村泰志 総務部次長兼財産経営課長 また91号は改めて。

◆岡田信俊 委員長 いいですか。分かりました、ごめんなさい。

90号までのところで何かございますでしょうか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

◆岡田信俊 委員長 よろしいですか。浅井部長。

○浅井俊彦 総務部長 総務部長、浅井でございます。先ほど一村次長のほうから議案93号につきましても同様というお話をさせていただきましたけれども、この国英地区の施設につきましては床材の変更という内容でございますので、労務単価等は影響を受けておりませんので、ここは訂正させていただきます。以上です。

◆岡田信俊 委員長 何かございますでしょうか、そのほか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

◆岡田信俊 委員長 なしと認め、次に進みます。

#### 議案第91号工事請負契約の変更について（説明）

◆岡田信俊 委員長 それでは、次に、議案第91号、工事請負契約の変更についての説明を執行部よりお願いいたします。一村次長。

○一村泰志 総務部次長兼財産経営課長 財産経営課、一村です。先ほどは大変失礼しました。

続きまして、議案第91号の説明をさせていただきたいと思います。第二庁舎につきましては、説明資料の2ページを、付議案は33ページの議案第91号を御覧ください。第二庁舎の変更後の金額が1億6,703万5,000円となりまして、変更前と変更後の差額が16万5,000円の増額となります。変更理由と内容につきましては、先ほど説明申し上げました議案第90号と同様ですので、説明のほうは省略させていただきたいと思います。予算についても同様でございます。以上です。

◆岡田信俊 委員長 説明をいただきました。

先ほど同様、本日の委員会では説明のみとなっておりますが、委員の皆様で聞き取りにくかった点や字句の確認等ございますでしょうか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

◆岡田信俊 委員長 なしと認め、次に進みます。

#### 市民ワークショップについて（説明・質疑）

◆岡田信俊 委員長 それでは、次の2番のその他報告であります。市民ワークショップについての報告を執行部よりお願いいたします。渡邊次長。

○渡邊大輔 企画推進部次長兼政策企画課長 政策企画課、渡邊でございます。

それでは、市民ワークショップについて御報告させていただきたいと思います。本日お配りさせていただいております資料3ページ、お開きくださいませ。市民ワークショップについてでございます。冒頭、浅井部長のほうからもお話がございましたが、6月5日、6月6日、2日間にわたりまして市民ワークショップを開催させていただきました。2日間それぞれ11名ずつの参加ということで、合計22名の御参加をいただきましてワークショップを開催させていただいております。

2、各班の提案でございます。ワークショップの進め方でございますが、まず、今まで絞り込んできていました5つの機能、A、B、C、Dと表のほうにございますが、そちらの中で、集まってきた皆様に、どの機能が一番必要なのか、個人個人で選んでいただきました。それが選択の3、表の3のところがございます。1班、6月5日の第1班でございますが、5名参加していただいております。Aの教育・学習・芸術・文化機能が一番必要だと言われた方が3名いらっしゃいました。それから、Cの憩いの場・コミュニティが必要だと言われた方1名、それから、Eのオープンスペースが必要だと言われた方1名ということでございました。

その次に、その選んだ各機能につきまして具体的な活用策を提案をいただきました。1人4つまで御記入をいただくというような形で、各機能の活用策、そして、そのときにこの活用策を選んだ理由というのでも御発表いただいたということになります。それが跡地に必要と思う主な活用策というところに記入させていただいております。各個人が提案しました活用策を見ながら、皆さんでお話をしていただき、活用策を取りまとめていただきました。班のまとめ方としましては、各機能、A、B、C、Dなどの機能を充実させるために、活用策、いろいろな活用策があるんですが、〇〇、〇〇というような活用策として活用します、各機能を充実させるためにこのような活用策として活用するというようなまとめ方をさせていただきました。それが

班のまとめというところを書いてございます。各班のまとめはあまり多くならないように絞り込んでいただくように話し合っていたということにしておりまして、各班からまとめを1つから大体多いところで3つというようなことでまとめていただきました。

各班のまとめ、御報告させていただきます。6月5日の1班でございますが、教育・学習・芸術・文化機能を充実するために、市民コミュニティのための美術館を中心に多目的ホールやイベント広場として活用します。これが1班のまとめでございます。

続きまして、2班のまとめです。こちらは6名の選択で、Aの教育・学習・芸術・文化が2名おられましたし、Cの憩いの場・コミュニティが必要だというのが1名、それからオープンスペースが必要だという方が3名いらっしゃいました。班のまとめとしましては、1つは、オープンスペースを充実するため、広場を中心に店出しやすい工夫をした市場などとして活用しますというまとめ方。2つ目としましては、教育・学習・芸術・文化及びオープンスペースを充実するため、文化施設・市民ギャラリー、広場などを中心に市民の交流の場として活用します。3つ目としましては、教育・学習・芸術・文化を充実するため、ミュージアムを中心に鳥取の歴史、それから文化の発信の場として活用します。こういったまとめをいただきました。

おはぐりいただきまして、4ページでございます。6月6日の1班でございます。こちらのほうは、Aの教育・学習・芸術・文化を選択された方は5名の中で4名いらっしゃいました。それから、オープンスペースということで1名いらっしゃいました。班のまとめとしましては、教育・学習・芸術・文化及びオープンスペースを充実するため、子供たちの学びを中心に、環境学習や防災学習の場、これは括弧として総合防災教育研修センターということでありましたが、や、こども遊園として活用します。2つ目としましては、教育・学習・芸術・文化を充実するため、鳥取市ゆかりの文化人をたたえる美術館を中心に活用するという発表。3つ目としましては、中心市街地で住みよい環境づくりを推進するため、小学校の充実強化やスーパールの誘致等に活用します。これは少しこの上のA～Dにはないようなまとめ方にはなっておりますが、教育・学習ということで、小学校の統合ということを皮切りにこういったまとめ方、地域のためにということで、こういったまとめ方になりました。

6月6日の2班でございます。6名の方の中で、教育・学習・芸術・文化を選択された方が2名、憩いの場・コミュニティを選択された方が1名、それから、オープンスペースを選択された方が3名という結果でございまして、班のまとめとしましては、教育・学習・芸術・文化及びオープンスペースを充実するため、若者の拠点、広場として活用します。それから2つ目に、教育・学習・美術・文化を充実するために図書館として活用します。これは、人が集まってきて、人の流れができるような施設という意味での図書館ということでございます。それから3番としまして、憩いの場・コミュニティを充実するため、待つ空間、時間を使える空間、自由に使える空間という意味でございますが、そういったものとして活用するというのが班のまとめで、各班のまとめでございました。

総括してみますと、Bの医療・福祉・健康増進、また、Dの娯楽・レジャーという機能を5つの選択肢の中で一番に中心にしたいと考えた方はこのワークショップの中ではいらっしゃいませんでした。Aの教育・学習・芸術・文化、それからEのオープンスペース機能を選ばれた

方が多くいらっしまったということでございます。

3番の今後の予定でございます。今後の予定としましては、7月、旧本庁舎等跡地活用に関する専門家委員会、専門家委員会でございます、を開催する予定としております。今のところ7月1日ということで予定をさせていただいておるところでございます。ここでは、このワークショップでいただいたものの報告、それからアンケートの内容、そういったものをしっかりと協議をさせていただきたいと考えておるところでございます。そのワークショップの結果及び専門家委員会の皆様のほうからも活用策の御意見というのをいただきながら、アンケートの選択肢というものを決めていくということを考えておるところでございます。専門家委員会からいただいた御意見を基にアンケートを作成させていただきまして、このアンケートを実施する前には議会の特別委員会、この皆様にも御確認をいただきたいと考えております。休会中ということになるかもしれませんが、特別委員会の開催をお願いすることも考えておりますので、よろしく願いいたします。市民アンケートにつきましては7月下旬からということ想定して考えております。そして、秋以降になるとは思っておりますが、跡地活用についての本市としての一定の方向性を示させていただくということで予定しております。

御報告は以上でございます。

◆岡田信俊 委員長 御報告いただきました。

委員の皆様から質疑等ございますでしょうか。加嶋委員。

◆加嶋辰史 委員 加嶋です。説明ありがとうございました。このワークショップ開催、無事に終わったことを1つ区切りとして私も受け止めておるところではございますが、2点お伺いします。1点目は、河井経営統轄監、高橋企画推進部長、それぞれ目の当たりにされて、当日2日間、それぞれの所見をお聞きしたいと思います。

2点目ですけれども、次長兼政策企画課長の渡邊さんも、この資料をまとめていただいたんですけど、班のまとめで選択をした形にはなっていますが、このワークショップの中で市民の方から複合案がたくさん出てきたなと私は印象を受けました。その経緯が少し伝わりにくいのかなと。あくまで最初からAとかEを選択して、そこに集中したわけではなくて、まとまるまでの経緯の段階ですごくAとEの複合案ですとか、そういった形で言われる方が多かったところを少し補足の説明を求めたいところでもありますので、その2点について質疑いたします。

◆岡田信俊 委員長 高橋部長。

○高橋義幸 企画推進部長 それでは、ワークショップに参加させていただいて、その感想でございます。今、参加と言いましたけれども、私が議論に参加をしたわけではありませんので、そこは御了解いただきたいと思います。

両日、私は第2班のほうに同席をさせてもらったということです。当初想定していたよりも参加された方が少し少なかったということはございましたけれども、出席していただいた方は、皆さん、こうしたいというお考えがあって参加された方ですので、非常に熱心に議論をしていただいたというふうに思っています。そうした中で、先ほど渡邊のほうからも話がありましたけれども、AとCとE、こちらのほうに皆様の意見が多く出ていたということは、何といいま

すか、これからの選択に当たって大きな参考になるのかなというふうに思っております。

それから、それぞれの班でまとめていただいたということがございます。こういったことを参考にしながら、次はアンケートということに移っていくわけでありましてけれども、どのような形でアンケートを行っていくのか、専門家委員会のほうとも協議をしながら進めていきたいというふうに思っております。

いずれにしても、5つに絞り込んだ案に対して、率直な市民の方の御意見をいただけたということで、私としては、非常にいい御意見をいただいたと、いいまとめをしていただいたというふうには思っております。以上です。

◆岡田信俊 委員長 河井経営統轄監。

○河井登志夫 企画推進部経営統轄監 経営統轄監、河井でございます。高橋部長と所感が重なる部分があるかもしれませんが、よろしく願いをいたします。

私もこの2日間、参加というわけではなく、一緒に聞かせていただいたという立場でございます。それぞれ第1班のほうの内容を聞かせていただいたというところでございます。それぞれ人数のことはございましたけれども、それぞれ皆様方しっかりしたお考えを持っておられまして、自分の意見というのもしっかり御発言なさったと思っておりますし、その後のワークショップの中において、それぞれの考え方の若干の差異とかいろいろありましたけれども、このようなまとめになったというふうに思っております。御指摘もあったように、機能の部分で2つの機能を有した、例えば活用策であるとかっていうのがありましたので、今後の課題といたしましては、その辺をどのように、今御質問もされておりますけれども、どのようにまとめていくか、そして、具体的な活用策の部分については、機能は同じであっても、種々たくさんいろいろなものがありますから、そういうところを専門家委員会の皆様のお考えなり御意見も参考にしながら、そして、この特別委員会の委員の皆様方の御指摘等も十分話を聞かせていただきながら、アンケートの段階に向かっていくのが大切かなというふうに思っております。

以上で私の所感を述べさせていただきます。ありがとうございました。

◆岡田信俊 委員長 渡邊次長。

○渡邊大輔 企画推進部次長兼政策企画課長 政策企画課、渡邊でございます。

ワークショップの中での複合案、たくさんあったということでございました。補足をさせていただきたいと思っております。概要ということで説明させていただきました。各皆さんに選択していただいたのは、メインのものを選択をしてくださいということと、もう1つ、サブになるものっていうのも各皆さんに発表の時点ですでにいただいております。メインになるものは、例えば教育・学習・芸術・文化だけど、そのサブとしてもう1つオープンスペースも必要だというような御意見の中で、様々な御意見、複合した御意見をいただいております。

それから、御意見の中では、ある方の意見と私の意見を一緒にしたらもっといい施設ができるんじゃないかっていうような御意見、たくさんございまして、そういったものをまとめさせていただいております。それが最終的なまとめになっておりまして、そちらの中には、例えば1班の中では、教育・学習・芸術・文化機能を充実するため、市民コミュニティの美術館ということでもありますけど、そこにやはり多目的ホールだとかイベント広場というようなことで、

まとめの中ではそういった複合的な考えの中でのまとめをしていただいたところでございます。

御議論の中では、細部にわたって御説明なかなかできないところもございますけれども、やはり教育・学習・芸術・文化機能、それと、憩いの場・コミュニティ機能、それからオープンスペース機能、この辺りをしっかりと複合させながら、施設っていうものを、今後、活用策っていうものを考えていくという御意見が多数ございまして、そちら、ファシリテーター、司会者の方になるんですけども、そういった方にしっかりとまとめていただきながら、たくさん御意見をいただきながらまとめさせていただいたということを御報告させていただきます。以上でございます。

◆岡田信俊 委員長 御報告いただきました。

委員の皆様から質疑等ございますでしょうか。

加嶋委員。

◆加嶋辰史 委員 ありがとうございます。質疑を重ねますが、最後にします。

所見を述べていただいて、私も少し感想を、傍聴させていただいた感想としては、熱心な市民の方がお互いの意見をたたえ合うようなところがあって、本当にすばらしい会だったなど。人数の大小ではなくて、すごく充実した内容をファシリテーターの方が誘導してくれた部分もあって開催できたというふうに評価しております。

渡邊次長から今説明がありましたサブで出たような意見ですけども、専門家委員会までにまとめていただいて、それを報告することは予定されてるのでしょうか。

◆岡田信俊 委員長 渡邊次長。

○渡邊大輔 企画推進部次長兼政策企画課長 ありがとうございます、政策企画課、渡邊でございます。

このたびの資料、御報告ということで、これはワークショップで出てきた御意見をそのまま皆様に一旦御報告をさせていただいたものでございます。専門家委員会を開催するまでには、こちらの班のまとめをやはり少しまとめさせていただいたりですとか、そういったことをしまして、専門家委員さん、御議論を活発にできるようにということ、それから、専門家委員さんの御意見もできるだけまとめさせていただきながら御議論させていただくというようなことをさせていただきましますので、資料につきましては、また改めて専門家委員会用の資料をしっかりと作らせていただきます。専門家委員会始まる前に、特別委員会の皆様には、資料、こういったものができましたということで御報告といたしますか、お知らせはさせていただきたいと思っております。以上でございます。

◆岡田信俊 委員長 説明いただきました。

委員の皆様から質疑等ございますでしょうか。

吉野委員。

◆吉野恭介 委員 説明ありがとうございます。参加された方で熱心ないい意見が出たんだろうなとは思いますが、いかんせん22人ということでありました。一般質問でも上杉委員さんのほうからも質問があったわけですが、想定が150人だったということに対して22人ということの重みづけっていうのは、何か変化が、捉え方が、執行部としての捉え方っていうのは何か変わり

があるのかないのかっていう辺りをまずお聞きします。

◆岡田信俊 委員長 渡邊次長。

○渡邊大輔 企画推進部次長兼政策企画課長 22人の重みづけというところがございます。ワークショップにつきましては、吉野委員おっしゃられたとおり、3日間で150名ということをご最大として見込んでおりましたところ、22名というところにとどまっております。やはりそこら辺に関しましては少し残念だなというところは確かにございます。ただ、しかし、このワークショップにつきましては、今後やらせていただきますアンケートの選択肢などに、しっかり市民の皆様のお意見をいただくというために実施したものでございますし、先ほどお話もさせていただきましたが、しっかりと活発な御議論いただいた上でさせていただいています。それと、アンケートの選択肢につきましては、専門家委員会の皆様にもしっかりと意見をいただきながら作成させていただきたいと思っておりますので、人数は少なかったというところではございますが、ワークショップの開催につきましては、重みが変わったとか、そういったことはございません。しっかりとできたと考えております。

◆岡田信俊 委員長 吉野委員。

◆吉野恭介 委員 ありがとうございます。一定の理解はさせていただいてるつもりであります。これから行われるアンケートっていうところに今回の意見を反映して、そこがかなり大きな、施設の案を決めていく上で大きなウエートを占めていくのかなって思ってるわけですけど、2,000人のアンケートだということで、前回、昨年行われたアンケートでは48%ぐらいだったですかね、800人弱の回答だったと思うんですけども、2,000人という意味っていう辺りを少し教えていただけないでしょうか。

◆岡田信俊 委員長 渡邊次長。

○渡邊大輔 企画推進部次長兼政策企画課長 統計学上という言い方はあれなんですけど、市民の御意見の総意というものを聞く上で、400人という人数を超えていけば、そちらに関しましては、市民の総意に近いパーセンテージといいますか、そういったものが得られるというのが統計学上でございます。40%を見込ませていただくということであれば、1,000人でも400人は達成する可能性はあるのかなとは思いますが、アンケートをさせていただくに当たって、それを少しでも高めていきたいということがございまして、2,000人ということをお考えさせていただいております。そうなれば、また800人、40%程度であれば800人程度の回答はいただけるものかなと思っておりますので、そうなれば市民の皆様のご一定の御意見というのがまとめ切れるということと考えております。以上でございます。

◆岡田信俊 委員長 吉野委員。

◆吉野恭介 委員 ありがとうございます。400人であればいいのかなという御回答でしたけど、実の回答が2,000人分ぐらいあればいいのかなって自分は思ってたので、回答率を見越して3,000人とか4,000人宛てに通知をしてはどうかなっていうような考えだったんですけども、増やすような考えは今のところはないという理解でよろしいでしょうか。

◆岡田信俊 委員長 渡邊次長。

○渡邊大輔 企画推進部次長兼政策企画課長 今のところ2,000名でさせていただくという考えで

思っておるところでございます。

◆岡田信俊 委員長 そのほか質疑等ございますでしょうか。上杉委員。

◆上杉栄一 委員 この間一般質問させていただいたわけで、ちょっと重複するような点があるかもしれませんが、市民ワークショップについては、私も議場でこの22名の市民の意見が、いわゆる市民の合意形成、合意を得られたというふうに思ってるのかということでの質問をした折に、市長のほうとしては、決してそこまで合意を得られたとは思ってないということでの答弁だったというふうに思ってるんだけれども、市民ワークショップのこの出たいろんな意見を今後市民アンケートに生かしていくということ、これ、一番私が気にしてるのは、市民ワークショップのこの結果がA、B、C、D、Eあって、結果としてBとDがほとんどなかったということになってくると3つの機能を絞り込むような話になるんだけれども、これが市民アンケートにどういうふうに反映するのか、それが非常にちょっと危惧しとるところです。それは市長の答弁の中で、決してこの市民ワークショップで出た市民のそれぞれの意見が市民の合意を得られたもんであるということになれば、この5つの絞り込みについて3つに絞り込むという話にはならんわけで、ですから、これはあくまでもこの絞り込んだやつの中で、専門家委員会にこの意見を聞くわけでしょうから、そこについては最初からこの3つになりましたというような、絞り込んだような形で提案すると、それこそもう方向性が、この22名の市民の出た意見がそのままアンケートに反映されるような話になってくるわけで、私がこの間一般質問で言ったのは、果たして22名の市民の意見で、そのまま方向性を出していくってことは非常に危険だということを私は申し上げたわけでありまして、もしそういうことであるならば、議会としては議会としてのまた意見を outsourcing してもらいたいというふうに私は思ってるんで、その辺りについては、アンケートの取り方ですね、要するにアンケートの中で市民ワークショップでこういう意見が出ましたという話はあるだろうけれども、そうなってくると、たちまちA、B、C、D、Eからすると3つに絞り込んだようなアンケートの取り方になる可能性もあるんじゃないかなと、大変その辺りを危惧しとるわけだが、考え方について、そのアンケートの取り方の考え方について教えてやってください。

◆岡田信俊 委員長 渡邊次長。

○渡邊大輔 企画推進部次長兼政策企画課長 ありがとうございます。上杉委員のおっしゃられるとおりでございます。市長も申しておりましたが、このワークショップでは市民の合意を得たというわけではございませんので、ただ、アンケートにつきましては、ワークショップの報告はさせていただきますとともに、専門家委員の皆様のお意見、それから、専門家委員の皆様に活用策についての意見を述べていただくという場所も設けておりますので、そういったものを加味しながらアンケートの選択肢決めていきたいと考えております。専門家委員会にお話しするときに、初めからBと、先ほど言った、Dというものはもう取り下げるべきだというような御提案を当然させていただくことはないと思いますし、そういったところも含めて、結果も含めながら、専門家委員の皆様のしっかりとした御意見をいただきながら選択肢つくってまいりたいと思っておりますので、その辺は重々こちらのほうも意にしながら進めてまいりたいと思います。以上でございます。

◆岡田信俊 委員長 上杉委員。

◆上杉栄一 委員 それから、市民アンケートを取る前には、この特別委員会に具体的なアンケート案っていうのが多分出てくるだろうというふうに思っていますんで、その場合に、この特別委員会の意見といたしますか、そういったものがどういうふうに反映されるのか、その辺りについてちょっと確認しておきたいというふうに思うんですけども。

◆岡田信俊 委員長 渡邊次長。

○渡邊大輔 企画推進部次長兼政策企画課長 専門家委員会でいただいたアンケートの案を鳥取市の案としまして特別委員会の議員の皆様に見ていただきます。その場の中で、当然修正点がありますとか御議論いただく部分あると思います。そういったお話をお伺いしながら、その伺った意見を反映させたものを、できるだけ反映させていただいたものを最終案としまして、アンケートを実施するというのを考えております。以上でございます。

◆岡田信俊 委員長 吉野委員。

◆吉野恭介 委員 今ほど専門家委員の案を市の案として提案させてもらうっていうふうに聞こえたんですけども、多分、専門家委員としては、それぞれ何人、七、八人おられるですかいね、いろんな意見を持ってこられて今度の7月の専門家委員会で話をされて、1本か2本にまとめられるっていうようなことなんでしょうか。それを提案されるっていうことでしょうか。

◆岡田信俊 委員長 渡邊次長。

○渡邊大輔 企画推進部次長兼政策企画課長 選択肢のことかなと考えておりますが、それは1本か2本ということではございません。当然、専門家委員会の皆様の御議論をいただいた上で決めていくものではありませんけれども、幅広に取った上で、市民の皆様最終的に取っていくものになると思いますので、数は幾らというのは申し上げることができませんが、選択できるものを、しっかりとこの中でということは議論の中でさせていただきながら、御提案をさせていただくことになると思います。

◆岡田信俊 委員長 吉野委員。

◆吉野恭介 委員 ありがとうございます。じゃあ、7月1日の予定されとる専門家委員会の中で何か絞って、何かまとめるっていうことではないというふうに理解しましたけど、よろしいですか。

◆岡田信俊 委員長 渡邊次長。

○渡邊大輔 企画推進部次長兼政策企画課長 渡邊でございます。

専門家委員会の中で絞ることもありますし、広げることもあります。そういったことを御議論いただきながら決めさせていただくということになると思います。

◆吉野恭介 委員 ありがとうございます。

◆岡田信俊 委員長 そのほかございますでしょうか。上杉委員。

◆上杉栄一 委員 アンケートの中で、絞り込みになるのかちょっと分らないですけども、いわゆるA、B、C、D、Eがあるわけで、アンケートの中からすると、具体的に、例えばA案ということになったときには、教育・学習・芸術・文化施設、その中での具体的な活用策ということまで絞り込んでいくようなアンケートを取られるということなんでしょうか。

◆岡田信俊 委員長 渡邊次長。

○渡邊大輔 企画推進部次長兼政策企画課長 最終的なアンケートの中身というのはまだ確定していませんが、活用策についてもアンケートの中でお伺いするというにはなると思いますので、こういった機能の中でこういった活用として活用するというようなアンケートにさせていただこうかなという部分で今のところは考えておるところでございます。

◆岡田信俊 委員長 上杉委員。

◆上杉栄一 委員 アンケート回収があつて、400以上あれば市民の方向性、合意っていいですか、そういったもんが見えてくると。そういった場合の集計した上で、これから、その後、今度は専門家委員会等、あるいは庁内の選考委員会っていうか選考会議にかけるわけですけども、どこまで絞り込んでいくのか、先ほど、ここに必要な活用策ということで美術館とか音楽ホールとかコンベンション機能とか、そういったものがあるわけですけども、具体的にはアンケートの結果、専門家委員会、あるいは庁内の最終的な策定委員会といいますか、そこでどこまで絞り込むような予定にしておりますか。

◆岡田信俊 委員長 渡邊次長。

○渡邊大輔 企画推進部次長兼政策企画課長 ありがとうございます。我々のほうとしましては、一定の活用策、一定の方向性ということでございますので、一定程度の具体的な活用策というものを市民にお示しさせていただけるように考えております。そういったものになるような絞り込みということを見せていただいて、御提示をさせていただくことになると考えております。

◆岡田信俊 委員長 上杉委員。

◆上杉栄一 委員 例えば、美術館を造ってくれとか、あるいは音楽ホールを造っていただきたいというような具体的な要望も出とるわけなんですわね。そうしたときに、それになるかどうかは別として、例えば教育・学習・芸術・文化の、そういったものに資するものということになったときに、具体的な活用策、まず活用ですね、方向性と活用策ちょっとよく分からんですけども、それはその後考えるところになるんですか。要するに、最終的には活用策の方向性を出したと、Aに絞り込んだと、あるいはBに絞り込んだということが着地点で、次のステップは、じゃあ、それからまた具体的な活用策を考えていこうということになるわけです。そうなってくると、例えば市民のワークショップであつたり、あるいはアンケートであつたりというものをまた取らないけんような状況になるわけだけど、どこまで鳥取市が具体的な活用策を考えておられるのか、そのことについてお伺いします。

◆岡田信俊 委員長 渡邊次長。

○渡邊大輔 企画推進部次長兼政策企画課長 このたびは一定の方向性を示すということですので、施設の中の細部でありますとか、そういったものについては、このたびでの方向性を示す中ではお示しをするということは考えておりません。やはり実際にこういったものを造るということになったときには、その段階で、また関係者の方もいらっしゃると思いますし、そういったところで、具体的にどれぐらいの規模でこういったものが必要になってくるのかというものは、再度、建設委員会という名前になるのか分かりませんが、そういったものをされて、しっかりとまたそこで形は議論していくということになると考えております。

◆岡田信俊 委員長 上杉委員。

◆上杉栄一 委員 ということは、今年度の構想は活用策の方向性を出すという話だったんですけども、最終的にはこれは機能を絞り込んだ、そこで着地点というふうになっちゃうわけなんですよ。そうすると、じゃあ、絞り込んだ後の活用策についてまた市民とけんけんがくがくでいろんな議論をする中でということになると、同じように市民ワークショップ開いて、それからアンケート取るとか、そういうような計画でっていうのが、それであるならば、3年計画でやっていかないと、今の分でいうと、2年計画で、ここでもう、途中どころは機能を絞り込んでここのこういう機能にしますということによって終わってしまうとるわけだから、また大きな議論になってくるわけだけども、その辺りについては私はどうなのかなというふうに思うわけです。だから、今度、実際の活用策の検討委員会、あるいはまた庁外の、それこそ、何ていうの、専門家委員会とかアンケート取るとかという格好になってくるんか。だから、その方向性がちょっと非常に何かファジーで見えづらいところがあるんだけど、その辺もう少しははっきり言ってください。

◆岡田信俊 委員長 高橋部長。

○高橋義幸 企画推進部長 なかなかイメージをしていただけない説明だったかもしれませんが、私どもが今考えてますのは、ここの班のまとめというのがございますけれども、まず機能、例えば6月5日の1班のまとめでしたら、教育・学習・芸術・文化、Aの機能ですね、Aの機能を充実するために、美術館を中心にホールやイベント広場として活用しますと。これがある意味活用策ということになろうかと思えますけれども、こういった形でのまとめができればいいというか、そういったことを考えております。先ほど渡邊が話をした、その具体的な話というか規模とか整備の内容とかについては、ここでいえば、例えば美術館をどの程度のものにするとか、ホールはどれぐらいのものにするかというのは、この方針が決まった後で市のほうが案を改めてつくってお示するというふうな、そういう流れになるのではないかなというふうに思っています。

◆岡田信俊 委員長 上杉委員。

◆上杉栄一 委員 私が言ってるのは、さっき部長言ったように、例えば美術館あるいはホールを造りますと、そこまでしっかりとしたある程度の、言ってみれば、具体的まではいかないけども絵に描けるようなものが出てくれば何となく想像ができるんですけども、いろんな、このAにしたって、カルチャーセンター、美術館とかコンベンション機能とかいろいろあるわけでしょう。だから、それは最終的には、じゃあ、Aにしましたけども、Aの中で、市としては美術館機能、それから観光機能、この部分について検討しますということになれば市民は納得する。けども、それがなくして、じゃあその教育・学習・芸術・文化というような形の中で、ここでもう終わってしまうと。じゃあ何をやるんやという話になるんで、具体的な細かい、それこそ何ていうの、何人規模の何を出せとか言わんとしているのではなくて、例えば美術館造ります、博物館造ります、あるいは多目的な集会所みたいなものを造りますというところまで絞ってもらわないと、また同じような繰り返しになるということなんです。その確認です。

◆岡田信俊 委員長 高橋部長。

○高橋義幸 企画推進部長 イメージとしたら、ここの班のまとめのようなことを考えております。どういったふうにまとめ上げていくのかっていうのはこれからの議論の進み具合にはなると思いますけれども、2年間かけてやってきているものですから、一定の方向性というのは、私どもはそういうふうに考えております。

◆岡田信俊 委員長 そのほかございますでしょうか。岩永委員。

◆岩永安子 委員 これから専門家委員会、それからアンケートを取っていくっていう中で、やっぱりアンケートも、そうは言っても2,000人の方ですので、さっきこのワークショップでまとめられたようなAの機能で、ここに、班にまとめてあるような、美術館を中心に多目的ホールやイベント広場として活用しますというようなまとめぐらいしかアンケートの中では難しいんじゃないかと思うんです。この間、ワークショップもアンケートも、そこで出た意見だけで決めませんよということも言ってきました。なので、広くやっぱりみんなの意見を聞くという、この間の方針に基づいてアンケート取っていくっていうところの、上杉委員も一般質問の中でプロセスが大事だって、それを市民によく分かるようにせないけんって言われたですけど、こういうワークショップやアンケートのプロセスをしっかりと市民の皆さんにもお知らせをして、こういうことで市はやろうとしてるっていうことが、今回人数が少なかったことは何でなのかっていうこともやっぱり考えんといけんと思うんです。本当に信頼を得ていくというか、そのためにも、一旦さっきのような、部長が言われたようなまとめ方のアンケートを取って、そこでその経過も明らかにして、次のステップに行くという、もともとの方針だったと思いますので、それを2,000のアンケートの回収率をどう高めていくのかっていうことをいろいろこれからも考えていただいて、進めていただきたいなと思います。意見です。

◆岡田信俊 委員長 そのほかございますでしょうか。吉野委員。

◆吉野恭介 委員 どうぞ、どうぞ。

◆岡田信俊 委員長 それじゃあ、米村委員。

◆米村京子 委員 米村です。前回のときにアンケートのことを私お尋ねしたと思うんですけども、どういうアンケートかっていうので今日聞かせていただきましたら、A、C、Eの中を取りまとめて、専門家委員会と話し合いながら、ちょっと確認なんですけど、あくまでもここで新しい方向性を見いだしていくためのアンケートとして、皆さんに、2,000人のアンケートをすることによってよろしいのか、いや、それじゃないよっていう、その辺のところ確認させてもらいたいんですけど。

◆岡田信俊 委員長 渡邊次長。

○渡邊大輔 企画推進部次長兼政策企画課長 アンケートの中身まではまだ確定はできておりませんが、ワークショップでいただいた御意見も参考にさせていただきながら、専門家委員会での皆さんの意見、それから御議論っていうのをいただきながらアンケートをつくっていきたくて思っております。ワークショップでは確かにAとCとEというのに意見は集中しましたが、先ほどもございましたとおり、これが合意形成といったものではないということで、参考にはさせていただきますが、そういったものになりますので、専門家委員の中ではこういった結果は結果として報告させていただきますが、もう少し幅広い議論をいただきながら

アンケートをつくっていくということになるかと考えております。そして、市民の皆様には活用策についての選択ができるようなアンケートにさせていただくというふうに考えておるところでございます。以上でございます。

◆岡田信俊 委員長 米村委員。

◆米村京子 委員 すみません、ワークショップもずっと出させていただいたんですけども、やっぱり中にはこの5つの機能っていうものを把握しないで参加されてる方もいらっしゃると思うんですよ。ていうのは、もうこの中の5つの機能の中で駐車場なんて1つもなかったんですけど、やはり駐車場が欲しいって言われる市民の皆さんもいらっしゃいます。そういう意味で、多種多様な意見が出たと思いますけど、ここでその中の絞り込みっていうところですごく興味を持ったのが、6日の1班、それの、やっぱり学校の統廃合みたいなことになってきてるんですけども、ここになってくると、もう実際問題この、企画だけじゃない部分でのことになってくるじゃないですか。そんなときは、そういうことがアンケートの中ですごく鮮明になったときはどういうふうな方向で持ってこられるのかなと思ってるところです。

◆岡田信俊 委員長 渡邊次長。

○渡邊大輔 企画推進部次長兼政策企画課長 アンケートの中で確かにいろんな御意見いただけるかなと思っておりますし、一定の方向性っていうのをお示しした上での具体的な活用になりますと、やはり担当部局のほうに入っていただきながらつくっていくものになっていきますので、そこになりますと担当部局のほうと相談しながら進めていくものと考えております。

◆岡田信俊 委員長 米村委員。

◆米村京子 委員 すみません、いろいろとワークショップとかアンケートのことや見せていただいていたんですけども、やはり市民の皆さんがスピード感がないって言われるんですよ、何にしても、決まることにしても。もう少しスピード感を持ってやってもらえないかっていう市民の皆さんの声があることに対してはどういうふうに回答されますか。

◆岡田信俊 委員長 渡邊次長。

○渡邊大輔 企画推進部次長兼政策企画課長 市民の皆さんがスピード感を持ってということ、もっともだと思っております。我々としては、跡地、今建設してある、旧本庁舎が解体、撤去するまでには方向性お示しするというで以前より進めてまいらせていただきました。そのとおりにやっておるところでございますので、スピード感という御指摘いただいておりますが、できるだけ早くお示しができるようにさせていただきたいと思っておりますので、その辺頑張らせていただきますので、よろしく願いいたします。

◆岡田信俊 委員長 よろしいですか。

◆米村京子 委員 いいです。

◆岡田信俊 委員長 そのほかございますでしょうか。吉野委員。

◆吉野恭介 委員 頑張らせて検討していただいとるんだと思います。具体的な活用策に向かったの市民に対しての見える化っていう辺り、プロセスの見える化っていう辺り、一般質問の中では上杉委員はプロジェクトチームみたいなものを庁内で立ち上げてっていうようなことも言われましたけども、もし今時点で何か透明性だとか妥当性、公平性、公正性とかいったものに値す

るような決定の過程っていうものをどのように考えておられるのか、分かる範囲で教えてください。

◆岡田信俊 委員長 渡邊次長。

○渡邊大輔 企画推進部次長兼政策企画課長 ありがとうございます。我々、当然、特別委員会もそうですけど、専門家委員会も全て公開の場でさせていただいておりますので、基本的には、それから専門家委員会での御議論、概要っていうものもホームページとかでお示しさせていただいております。それから、上杉委員、一般質問でもありましたように、専門家委員会からいただいた御意見を最終鳥取市の意見にするときに、内部で決めて、そこが見えんようになったらいけないよという御指摘いただきましたので、そういった部分は今後また検討、今、最中ではございますけれども、しっかりと市民の皆様に見ていただけるような形で意見をまとめるということも考えておりますので、そういったところ、考えさせていただきたいと考えております。以上でございます。

◆吉野恭介 委員 ありがとうございます。

◆岡田信俊 委員長 そのほかございますでしょうか。よろしいでしょうか。

（「はい」と呼ぶ者あり）

◆岡田信俊 委員長 それでは、御意見なしと解釈させていただきます。

では、そのほかいいですね。その他報告を終わらせていただきます。ありがとうございます。

執行部の皆さんは御退席ください。ありがとうございました。

委員の皆様はお残りください。

#### 令和3年度議会報告会・意見交換会について

◆岡田信俊 委員長 それでは、その他の令和3年度議会報告会・意見交換会についてに入ります。令和3年度議会報告会・意見交換会に当たり、本特別委員会からも意見交換のテーマを上げたいと思います。いかがでございましょうか。

◆上杉栄一 委員 なかなか難しいな、これ。というのが、メインテーマが子育てしやすいまちづくりを目指してということになって、本庁舎の跡地活用っていうことになると、このテーマに即した形になって、それを議論する話にはならんわけだね。だから、もう既に市民アンケート、7月上旬に発送して、恐らくこれが10月か、10月の終わりっていうことになってくると、何らかの方向性がおぼろげながら、なるかどうか分かんけれども、活用策の方向性が出てるような状況になるんで、じゃあ、それをどういうふうに議論して、これはええだ悪いだっちゅう話もならんわけだし、なかなか難しいな。まあ、濁して、跡地活用についてということでテーマとしてはしておくにしても、その日になって、どういう議論をするか、どういう内容のそれこそ話をするかっていうことになると、まだ今ここで具体的なテーマを出すっちゅうような、そういった時期ではないような気がするけど、私は。

◆岡田信俊 委員長 岩永委員。

◆岩永安子 委員 体は1つなので、みんな常任委員会に入ってるので、あえて特別委員会のグル

ープというか、そういうのをつくる必要はないんじゃないかと。特にこのメインテーマから考えると、というのは私の意見です。

◆岡田信俊 委員長 そのほかございますか。吉野委員。

◆吉野恭介 委員 この中には多分広報委員の方がおられると思いますので、自分も、今、岩永委員が言われた、ほかの4つの常任委員会の中に網羅すればいいでないかって思ってるんですけど、広報委員会の中で何かそういったことに対しての、この特別委員会で1つテーマを上げてっていうことになった経過を教えてください。

◆岡田信俊 委員長 朝野委員。

◆朝野和隆 委員 経過ってというのは、例年こうだからということで、ぼんと出てきて、そういった議論はなかったですね。そこもちょっと私のほうも気づかなんだですけども、上杉委員も言うように、テーマ的にも子育てしやすいまちづくりってなるとちょっとまずいし、あえてつける必要性もないのかなと思いました。

（「やめようや」と呼ぶ者あり）

◆朝野和隆 委員 だから、ここの意見としては、やめようっていうことを伝えればいいのかなど。

◆岡田信俊 委員長 米村委員。

◆米村京子 委員 私も、やめろで。

◆岡田信俊 委員長 どうでしょう。何か意見が一致したようでもありますけども。御議論いただいて、皆さんでお考えいただいた結果、いわゆるやめるというか、方向に行かせたいと思いますけど、よろしいですか。

（「はい」と呼ぶ者あり）

◆岡田信俊 委員長 じゃあ、そのようにさせていただきます。

以上で用意されとる議題は、事務局、よろしいですか。皆さんのほうで、いいですね。よろしいですね。加嶋委員。

◆加嶋辰史 委員 加嶋です。広報委員として発言をさせていただきます。今、意見交換のテーマについて、抽出するということがないような意見でまとまりました。このたびは議会報告会のほうもこのメインテーマに即したものになります。なので、議会報告会についても跡地活用、この特別委員会からの予算の説明だったり、事業の説明も省くというような形で見解の総意を取ってしまっていていいでしょうか。

（「それは別だよ。関係ない。」と呼ぶ者あり）

◆岡田信俊 委員長 いいですか。平野委員。

◆平野真理子 委員 議会報告会は議会の内容を報告するところで、意見交換はテーマを決めてそれをするっていうことのように認識してたんですけど。議会報告は別に子育て以外のことでもいっぱいあるかなと思ったりしますが、どうでしょうか。

◆岡田信俊 委員長 加嶋委員。

◆加嶋辰史 委員 先日開かれた広報委員会の中でも確認をしたとこですけど、委員長、副委員長ともにこのメインテーマを共通させて、議会報告会、意見交換会はそれに即したものをという形にはなっております。

◆岡田信俊 委員長 上杉委員。

◆上杉栄一 委員 確認だけでも、議会報告会で最初に各常任委員会の委員会報告をするが。それは別に今までもテーマに即したような委員会報告はしてないわけだ。だから、今年度は何を、どういうことをメインにしましたということだから、庁舎については旧庁舎の取組でええわけで、次の段階での意見交換会は、これはテーマを決めての話になるだろうから、それは4常任委員会はそのテーマに即した形での意見交換会ができるけども、この特別委員会は、ちょっとそれはテーマに決めたような話し合いはできんということ、だから、意見交換会はなしですよ。だけど、委員会報告は従来どおりしたらええということだと思っただけね。

（「だと思っただけ。」と呼ぶ者あり）

◆岡田信俊 委員長 加嶋委員。

◆加嶋辰史 委員 私も委員として、会の中で従来どおり広く一般的に議会の説明をしていくのが報告会の在り方、今までそうだったですけども、このたびはちょっとメインテーマを据えて、そういう、このメインテーマに興味のある方が集まってこられるので、そこに集中をしてはどうかという委員長、副委員長の意見がありまして、そこを、協議の場ですので、決を取ったわけじゃないですけど、今のところそういうふうに広報委員会ではなっとなるところです。

◆岡田信俊 委員長 上杉委員。

◆上杉栄一 委員 ということは、要するに各常任委員会の年次報告はなしにして、テーマに沿った形での意見交換をするという方向で今話をしてるわけ。

（「ああ、そうなんだ」と呼ぶ者あり）

◆米村京子 委員 でも、すみません、私も。いいですか、いいの、いいの。とにかく……。

◆岡田信俊 委員長 ちょっと待ってください。米村委員。

◆米村京子 委員 とにかく常任委員会の報告会っていう、そういういろんなことをやりましたよっていうことはしないっていうことですか、今回は。でも、そうなら、だったとしたら、別に各委員会がやったことに対しての年次報告はやるんですよ。だとしたら、それの中で本庁舎跡地利用だっけ入ってるわけじゃないですか。何でそこを、今回の、テーマとそぐわない、私たちは外したほうがいいっていうんならいいんだけど、それを何で報告に対して外さなきゃいけないのかが分からない。

◆岡田信俊 委員長 平野委員。

◆平野真理子 委員 ちょっと米村委員の今のは、広報委員会に対するこっちの意見になるので、ちょっとその辺はもう1回広報委員会のほうで整理して、各会派にもそれちょっと伝えてもらって、そしたら、ちょっと今、私の認識不足でしたら申し訳ありません。

◆岡田信俊 委員長 もう1回の委員会でいいですね、もう1回の委員会でね。

（「確認しようや。広報委員会での議論、どう言われるか。」と呼ぶ者あり）

◆岡田信俊 委員長 休憩しましょうか。

ちょっと一旦休憩させてください。

午前11時0分 休憩

午前11時7分 再開

◆岡田信俊 委員長 それでは再開いたします。

先ほどの件について、事務局のほうで説明をお願いします。

○中川真理 市議会事務局調査係長 すみません、広報委員会のほうの進捗状況について御報告をさせていただきます。報告会、意見交換会は全く別物として考えて整理をさせていただいておるところです。意見交換のテーマにメインテーマをつけさせていただきまして、それに沿ったものとするということなんですけれども、報告会の報告内容を今後検討するに当たっては、参加者が子育てに興味を持っておられる市民の方が多く参加されるのではないかとということから、報告内容についても各常任委員会で子育てに関連したようなまちづくりに焦点を絞ったほうが参加者に聞き入れていただきやすいというような御意見が広報委員会の中で出ておまして、報告内容の詳細につきましては、今後の広報委員会の中でもう少し詰めていくこととなっております。

広報委員会の状況としては以上です。

◆岡田信俊 委員長 分かりました。平野委員。

◆平野真理子 委員 私は今の御説明でよく分かりました。ただ、この調査特別委員会については、したことはもうしたことでしか報告しようがないので、その中で子育てが入るかどうかについてはちょっと難しいと思いますので、その辺は御理解いただきながら、それはそれだでっていうことになりましたらまとめさせてもらったらいいんじゃないかなっていうふうに思います。

◆岡田信俊 委員長 上杉委員。

◆上杉栄一 委員 なかなか庁舎の特別委員会で子育て関係の分をその中に盛り込んで報告って難しいと思います。跡地活用も、もうさっきの話で、具体的な方向性も活用策も出るとような状況だけでも、これはうちの報告でないわけで、となってくると、この特別委員会は意見交換会も報告も特別委員会はいいいんじゃないかと。だから、常任委員会でやってもらえばいいというふうに私は思います。

◆岡田信俊 委員長 そのほかございますでしょうか。よろしいですか。

今、上杉委員の意見で賛同いただけますでしょうか。

（「はい」と呼ぶ者あり）

◆岡田信俊 委員長 ということで、終わらせていただきたいと思います。

よろしいでしょうか。そのほかよろしいですね。

それでは、本庁舎跡地等活用に関する調査特別委員会を終わります。

午前11時9分 閉会

# 本庁舎跡地等活用に関する調査特別委員会（第23回）

日 時：令和3年6月18日（金）

午前10時～

場 所：7階 第1委員会室

## 1. 議案【説明】

議案第90号 工事請負契約の変更について

議案第91号 工事請負契約の変更について

## 2. その他報告

市民ワークショップについて

## 3. その他

令和3年度議会報告会・意見交換会について